



資料 4

神奈川県造血幹細胞移植推進協議会 の今後について

神奈川県造血幹細胞移植推進協議会について

設置目的

- ・造血幹細胞移植に関する理解と認識を深める
- ・造血幹細胞移植の推進について協議する

所掌事項

- ・骨髓・末梢血幹細胞移植に対する普及啓発に関すること
- ・骨髓・末梢血幹細胞提供者の確保に関すること
- ・骨髓・末梢血幹細胞移植推進の連絡、調整に関すること
- ・さい帯血移植に対する普及啓発に関すること
- ・その他造血幹細胞移植の推進に関して必要な事項

構成員

- ・学識経験者
- ・関係団体代表者
(神奈川骨髓移植を考える会会長を含む)
- ・行政機関の代表者
- ・公募委員

**骨髓バンク・さい帯血バンクの状況、
県の事業の実績報告を行い、
造血幹細胞移植の推進について
議論してきたところである**

神奈川県造血幹細胞移植推進協議会について

協議会設置等の経緯

| | |
|---------------|---|
| 平成2年頃 | 公的骨髓バンク設立運動の活性化 |
| 平成3年12月 | 財団法人 骨髓移植推進団体 (日本骨髓バンクの前身) 設立 |
| 平成4年1月 | 日本赤十字社「骨髓データセンター」設置 |
| 平成4年4月 | 県の協議会（標記協議会の前身）設置 |
| 平成9年9月 | 「さい帯血保存についてのプロジェクト会議」 (さい帯血バンクの前身) の発足 |
| 平成26年1月 | 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の施行 |
| 平成26年4月 | 現在の県の協議会（附則にて推測） |

- 当初の目的は骨髓移植、骨髓バンクの普及啓発であった
- 設置から約30年の間の普及啓発の成果でドナー数は増えたが、年齢制限によるドナー数の減少の危機

新規（特に若年層）の
ドナー登録者を増やすために、
次のステップに移行？

本協議会以外の会議体の利用について

四者会議

<目的>

- ・各団体間での情報交換
- ・「協働」を促進

<会議内容>

- ・各団体の取組と実績の報告
- ・各団体の活動についての共有
- ・骨髓ドナー登録数増加に向けた意見交換
- ・イベント等の周知

<四者内訳>

- ・神奈川骨髓移植を考える会
- ・ライオンズクラブ
- ・神奈川県赤十字血液センター
- ・県（がん・疾病対策）

【追加の構成団体（構想段階）】

- ・日本骨髓バンク
- ・市町村の事業担当
- ・学識経験者・市民活動有識者等

実務者レベルでより密な連携を図り、実のある議論を！

本協議会以外の会議体の利用について

がん診療連携協議会

＜目的＞

- ・高質ながん医療提供体制を整備
- ・各医療機関の連携強化

＜構成員＞

- ・県立がんセンター
- ・地域がん診療連携拠点病院(22病院)
- ・がん診療連携指定病院(12病院)
- ・県立こども医療センター
- ・県医師会
- ・県歯科医師会
- ・県（がん・疾病対策）

がんに携わる方
が多く参加

＜所掌事項＞

- ・地域におけるがん診療連携体制等、がん医療の情報交換
- ・県内の院内がん登録データの分析、評価
- ・県レベルの研修計画
- ・その他高質ながん医療の提供及びがん診療連携体制の推進

造血幹細胞移植に関する
情報共有の場を設ける

がん治療関係者に報告・周知！

本協議会以外の会議体の利用について

献血推進協議会

<目的>

- ・献血思想の普及
- ・献血者の組織化
- ・献血制度の適正な運営確保

<構成員>

自治体関係者

- ・知事
- ・健康医療局長
- ・県議会議員
- ・市長会
- ・町村会

医療関係者

- ・医師会
- ・病院協会
- ・薬剤師会
- ・県赤十字協議会
- ・県赤十字血液センター

学校関係者

- ・県立高等学校
- ・県私立中学高等学校協会

その他

- ・ライオンズクラブ
- ・株式会社テレビ神奈川

・県経営者協会

- ・アドバイザー
- ネットワーク神奈川
- ・日本労働組合
- 総連合会神奈川県連合会
- ・公募委員

骨髓ドナー事業と関係の深い献血関係者に啓発資材等を配布し周知する

献血関係者に周知！

啓発活動について

啓発資料について

市町村、保健福祉事務所、高校などの施設に配付

ポスター



壁新聞



リーフレット



県でも啓発資材作成

＜「四者会議」で議論＞

- ・骨髄バンク作成の資材を補完するもの
 - ・活動の啓発対象や目的に応じたもの
 - ・利用しやすい形式や媒体

より効果的な啓発

造血幹細胞移植の推進と、本協議会の今後について

他の会議体の利用

四者会議の拡充

がん診療連携協議会での報告

献血推進協議会での周知



普及啓発活動の
新たな取組み

上記、取組を実施することで、本協議会の役目を終えても良いのでは？

引き続き造血幹細胞移植に関する理解と認識を深めるとともに、
造血幹細胞移植の推進を図る